
「高度急性期病院における認知症サポートチーム介入患者に関する実態調査 2020-2024」に関するお知らせ

このたび、当院でチーム介入を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、埼玉医科大学国際医療センター病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センター認知症サポートチームに依頼があり介入し、認知症ケア加算 1 の算定対象となった 520 症例の患者さんを対象としております。尚、認知症診断のない 64 歳以下の患者さんは対象といたしません。

2. 研究の目的

認知症疾患診療ガイドライン2017において認知症の行動・心理症状（興奮や暴言暴力、幻覚や妄想など）は、認知機能障害を基盤として身体的要因、環境的要因、心理的要因などの影響を受けて出現すると示されています。当院では、これらの行動・心理症状の悪化を最小限に抑えながらお身体のご病気への治療を継続できるよう病棟とチームが連携し患者さんの日常生活のサポートを担っております。本研究では、高度急性期病院において認知症サポートチームが介入し認知症ケア加算1の算定対象となった患者さんに関する実態調査を行い、認知症の行動・心理症状、身体的拘束の状況、チームの提案内容、チーム介入後の変化の有無、などに着目し、チーム介入を振り返ることによって、チーム活動の方向性を検討し今後改善すべき点に関して考察することを目指します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 カ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

用いる情報は、電子カルテ内の診療記録や回診記録などです。具体的には、性別、年齢、診療科、主病名、合併症、入院日数、チーム介入日数、転帰、せん妄有無、身体的拘束の有無、意識レベル、認知症診断の有無、抗認知症薬投与の有無、認知症高齢者の日常生活自立度

判基準ランクを用います。また、認知症の症状やBPSD（行動・心理症状）の有無（例えば帰宅願望、興奮、拒絶、徘徊、不安、妄想等）に対する、入院中の生活を支えるための介入方法の提案内容（お薬の調整、環境の調整、生活リズムの調整、痛みへの対応、食事の工夫、身体的拘束関連やせん妄への対応等）と、認知症ケア加算の種類等を情報として用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である古内昌子が管理いたします。患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

認知症サポートチームで介入を行った患者さんの診療記録や回診記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・研究責任者：看護部（認知症サポートチーム） 古内 昌子

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 看護部（認知症サポートチーム） 研究責任者 古内昌子

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：070-1799-7001 月曜～木曜（祝日を除く） 10時～15時

○研究課題名：高度急性期病院における認知症サポートチーム介入患者に関する実態調査 2020-2024

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 看護部（認知症サポートチーム）古内昌子